※令和４年度以降入学生用

学校番号	3014

令和８年度　国語科

教科	（学）国語	科目	（学）小論文ディスカッション	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	学校独自プリント　小論文問題集・分析集　等						
副教材							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業は、大学受験で必要となる、小論文の技術、ディスカッションの経験を積む科目です。
・小論文は、語彙力も含めた文章作成能力だけでなく、自らの考えを整理し、論理的に構成する力、それをアウトプットする能力などが必要となります。
・ディスカッションにおいても同様に、個の能力だけでなく、他者と協同しながらよりよい意見を構築していく力が必要となります。
・この２つの学習によって身につく力は、社会に出て必要とされる力を凝縮したものと言えます。また、テーマ設定も、様々な価値観に触れ、多様化の進む現代における社会課題が多いことから、〇か×かの二項対立的な学習ではない、答えが一つではない課題に取り組むことになり、社会人基礎力ともいえる力の素養を身につける科目です。

2　学習の到達目標

・論理的思考力の意義や価値を理解し、基礎学力を土台とし、自らの考えを論理的にアウトプットできるようになること
・知識を活用して思考する問を学ぶことで、アウトプット活動の前提には、各教科の基礎学力が重要であることに気づく
・PDCA サイクルを確立し、考えやアウトプット活動の手法をアップデートしながら学び続ける
・社会課題について、自らの意見、客観的評価、事実を整理し、アウトプットすることができる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文章を作成する上で必要となる、語彙力や漢字能力を向上させるとともに、小論文の構成技術を身に着けている。また、ディスカッションの基本的な役割や、評価方法を知り、協同的に意見を構築する意義や手法について身につけている。	各教科の知識を活用して思考する問やワークを行うなかで、自ら考え、アウトプットする力を習得できた。また、社会課題に対して、自らの意見と客観的な事実、批判的な思考など、物事に対する的確な判断能力を身につけている。 一連の流れの中で思考力・判断力・表現力が個人内到達度として、どのような変化をしているか、変化量を測る。	科学技術や社会課題に対して興味や関心をもち、主体的に思考する姿勢がある。 また、小論文やディスカッションの中で、自らの考えや表現方法を試行錯誤し、ブラッシュアップしながら学びを進めようとしている。またその試行錯誤の結果として、自己調整しながら学習を進める力が身につけている。

上に示す観点に基づいて,学習のまとまりごとに評価し,学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて,それぞれの観点を適切に配分し,評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	小論文の基礎①	小論文作成における「表記」「構成」「内容」をもった文章について知る。 構成について学び、序論・本論・結論の適切な構成をする。	a. 文章を作成する上で必要となる語彙力をつけ、文章の言い換えができる。また、小論文を書く上で重要な「表記」・「構成」・「内容」の要素について知り、構成技術を身に付けている。 b. ［書］主語と述語の対応が明確な文章を作ることができる。また、80字程度の文章の構成が的確にできる。 c. 主体的かつ粘り強く、試行錯誤しながら学びを進められることができる。また、添削を受けた文章を改善する姿勢がある。	単元テスト 小テスト 課題提出	単元テスト 小テスト 課題提出 アウトプット活動	アウトプット活動 振り返りシート
	ディスカッション①	ディスカッションの基礎として、ブレストや、自分の意見を表明する問を行い、不確定な問題について論理的に整理する活動を行う	a. ロジックツリーや図表などを作成し、論理的・構造的に物事を捉える手法を体得する。 b. ［話/聞］思考の整理と共有を技術として的確に用い、問に対して、自分の意見を表現することができる。 c. 自分の意見を明確に表明できているかを振り返り、課題を認識し、表現方法を試行錯誤しながら粘り強く改善する姿勢を見せている。	課題提出	小テスト 課題提出 アウトプット活動	アウトプット活動 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	小論文の基礎②	小論文の3型 ①テーマ型 ②課題文型 ③図表 について、80 文字程度の文章で考えを整理する。 1 文 80 字、2 文構成で、各テーマについて、考えをまとめ、接続詞で文をつなぐ演習を行う	a. 1 文を 80 字で表現することができる。また、80 字の文章が主語と述語の対応が明確であるか。2 文構成では、接続詞を的確に用い 80 字−80 字の文章をつなぐことができている。 b. ［書］80 字で自分の意見を明確に述べることができているか。またその表現は一貫性を持ち、論理的に行えている。 c. 表現方法について試行錯誤しながら粘り強く学習を行えているか。各テーマについて幅広く見識を広げようという意識がある。	単元テスト 小テスト 課題提出	単元テスト 小テスト 課題提出 アウトプット活動	アウトプット活動 振り返りシート
	ディスカッションの基礎②	各テーマについて問題の全体像を網羅的かつ多角的に捉え、視点をもった判断をする。 「視点」「理由」をもった意見を表明する演習を繰り返し、現状分析や解決策の評価をする場を多く設定する。	a. 物事について、視点を多角的に捉え、複数の視点で見ることができる。 b. ［話/聞］自分の意見を視点と理由をもって表明し、他社の意見について共感性ある態度で受容することができる。 c. 各テーマについて、自ら視点をもって捉えようとする姿勢があり、論理的に説明できているか主体的に検証しながら粘り強く取り組んでいる。	課題提出	小テスト 課題提出 アウトプット活動	アウトプット活動 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	小論文の基礎③	小論文の3型 ①テーマ型 ②課題文型 ③図表 について、80 文字で作成した文章を序論(80×1＝80 字)本論(80×3＝240 字)結論（80×1＝80 字）で構成する演習を行う。 社会問題や、科学に関するテーマから、知識や課題を整理する演習を行う。	a. 400 字、800 字の課題において、接続詞を的確に用い、80×５、80 字×10 の文章を作成できる。 b. ［書］思考を論理的に表現でき、自分の立つ視点や、テーマの論点を明確にすることができている。 c. 表現方法について試行錯誤しながら粘り強く学習を行えているか。各テーマについて幅広く見識を広げようという意識があるか。	単元テスト 小テスト 課題提出	単元テスト 小テスト 課題提出 アウトプット活動	アウトプット活動 振り返りシート
	ディスカッションの基礎③	各テーマについて問題の全体像を網羅的かつ多角的に捉え、視点をもって自分の意見を表明する。 ディスカッションを実際に行い、役割や立場を設定し、その立場にたった討論ができるか実践的演習を行う。	a. 物事について、視点を多角的に捉え、複数の視点で見ることができる。 b. ［話/聞］自分の意見を視点と理由をもって表明し、他者の意見について共感性ある態度で受容することができる。 c. 各テーマについて、自ら視点をもって捉えようとする姿勢があり、論理的に説明できているか主体的に検証しながら粘り強く取り組んでいる。	課題提出	小テスト 課題提出 アウトプット活動	アウトプット活動 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　10　）時間
・書くこと　…　（　25　）時間